

皆川おさむ 地区集会

朝日 7月30日(日)19:00~
朝日中央コミセン「すまいる」

藤島 8月4日(金)19:00~
藤島地区地域活動センター大ホール

羽黒
8月9日(水)予定

温海 未定



皆川後援会事務所
鶴岡市新形町9番13号
Tel.64-8753 Fax64-8757

バンクーバーの花火大会

新町 齋藤留治

カナダ・バンクーバーの夏の夜は短い。

ある晩、夕食後の皿洗いを終えて(この家では食事の支度は奥さん、片づけは男の仕事)、テレビを見ていたら奥さんから「サイトウ、明日の夜スタンレー公園(バンクーバーは森の都、美しい芝生に彩られた公園が沢山ある)の近くで花火大会があるから行きませんか」と誘われたことがあった。

(凡そサハリン・旧樺太の中央部)に位置する街であるため、夏は暗くなるのがめつぼう遅く、夜の9時半頃になって漸く薄暗くなるのであった。

花火大会は無いわけで、当然ドカーンと打ち上げられるのは日本の家庭ではそろそろ寝ようかと考える時間帯からドカーンなのであった。ようやく始まったと思ったら30分もすると終わりという、あっけなさであった。その後「ああそうか」と、何故親爺さんが来なかったか納得させられたものである。

その時、いくらなんでも奥さんと2人で花火見物に行くことには気が引けたが、約束をしてしまったので、翌日の夕方まだ明るいうちに奥さん運転の車で出かけた。

ここ庄内では、花火大会といえれば大体夜7時過ぎからドカーンとなると思うが、9時過ぎでも始まらない。そうかバンクーバーは北の街、北緯50度位

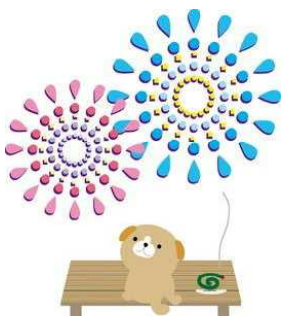
何時間で花火が始まるまで甲羅干しをしていなかったのであった。この後30分余りの花火を見る為に

真夜中帰宅なんて真っ平御免と、誘われても断った(お詫びします)。

夏のバンクーバーではあちらこちらで花火が上がっていたが、まるで線香花火のようにクルクルと落ち着かないと言へばアベ政治。

スローガンばかりのオンパレードに食傷気味であるが、最早「人間性」に疑問符がついては一卷の終わりではありませんか。

弱者いじめと嘘つき迷宰相として、名前が道徳の教科書に掲載されるのではと気の毒に思っている。



野党の臨時国会召集要求に「応じない」安倍内閣は憲法違反ではないか

一あらためて憲法を学ぶ 青山崇

話は1カ月前ほど前になるが、6月22日、民進・共産・自由・市民の野党の衆議院議員120人、参議院議員72人が、加計学園問題などで臨時国会召集を求めめる要求書を提出した。憲法第53条「内閣は、国会の臨時会の召集を

決定することができる。いずれかの議院の総議員の四分の一以上の要求があれば、内閣は、その召集を決定しなければならぬ」とある。四分の一は、衆議院119人参議院60人で、それを上回る人数である。菅官房長官は「政府は召集義務を負うが、憲法上期日の規定はない」と語り応じない方針である。「内閣は、その召集を決定しなければならぬ」とあるから、拒否できないので

はないかと大いに疑問を持った。農協は、農水省の定款例によると、組合員の5分の1以上が召集を請求したとき、その日から10日以内に総会を召集として期日を10日以内と定めている。いずれも、少数意見の尊重という民主主義の原則にもとづくものでしょう。先号に書いたコスタリカであればすぐ召集されるでしょう。安倍内閣にはもう憲法はないのだ。



大臣から出た加計

国民の思いとは反対のことを強引に決着させ、首相は「ていねいな説明」とは何回言ってきたことか。このよ

うな国会運営に対する国民の思いが、結果として東京都議選の「自民党の大敗」として現れたと言われています。

▲だからあの頃の内閣の人氣はどのような調査によるものだったのか、と疑問に思う声が多く聞かれたものだった。その後というものには、大好きな海のかなたの彼と仲良く30%程度に下がった。

▲それをなんとかするために内閣改造をすると言ったが、今まであんな大臣を「適材適所」で使ってきた、別に相応しい人材がいると言ったのだろうか。国民は、安倍と言う首相がやってきた国会がイヤだという事なんだか

ら、別の者を並べてもダメなんですがネー。▲しかし思えば、国民の政治に対する不信不満の声が、国会閉会中の委員会開催などに繋がっているんだネ。これでいいと言っわけではないけど。

▲モリカケ問題が毎日マスコミを賑わすのも世論の動向によるものでしょう。山本地方創生大臣が一生懸命否定していますが、これで俺が持っていた疑問がハッキリしたんだ。いつかのこの欄で、事業が決まらないうちに地盤調査を始めたのが問題だと書いたんだが、加計ありきの話がそこでされたんだということとでハッキリした。

▲なんの確証もないのに、誰だって他人の土地で地盤調査を始めますかってんだヨ。言い訳すればするほど墓穴は大きくなるぜ。勿論、次回は無いだろうがサ。

(石川)